

# DALI BUS電源装置 施工説明書

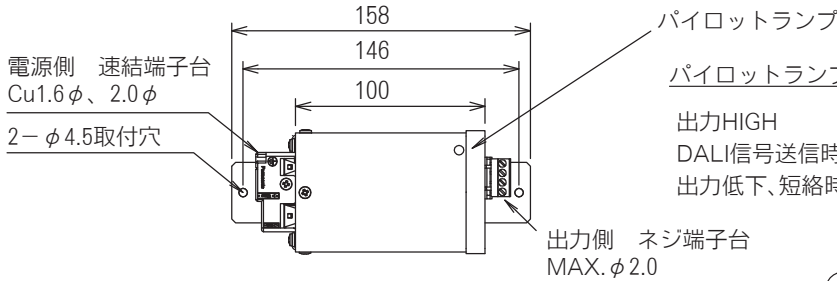
## 製品概要

\*1 接続するスイッチ、器具、センサにより、少なくなる可能性があります。

型 式	接続台数	電 源 仕 様	定格入力容量	定格出力	使用周囲温度	出力配線長	質量
LE004025LBZW1/24-A1	*1 最大64台まで	AC100/200/242V共用 (94~106V, 188~256V) 50/60Hz共用	12.5VA (100V) 16VA (200V) 20VA (242V)	DC 16V DC 250mA	屋内専用 -20~50°C	最遠長250m (CPEV-S0.9~1.2φ相当)	380g

上表の使用条件を守って使用して下さい。間違えると電源装置の短寿命などの原因となります。

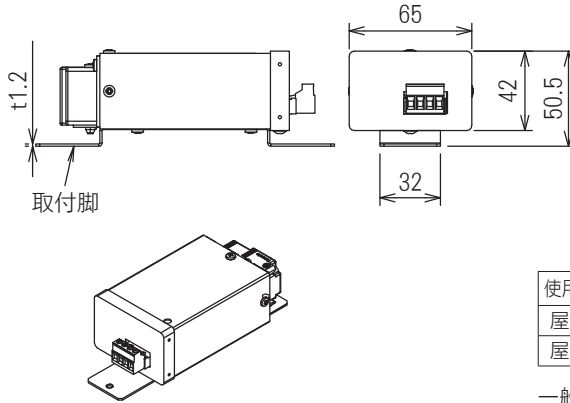
## 各部の名称



## 配線図



## 取付条件 屋内専用



	垂直取付	水平取付	横向取付
使用場所			
屋 外	×	×	×
屋 内	○	○	○

一般ユーザーが常時アクセスできる場所への設置はしないでください。(屋内の天井裏は可)

## 電源装置の取付

- 取付前に電源装置の重量に耐えるよう、取付部の強度を確認してください。
- 電源装置は取付条件の通り、配線を傷つけないように取付脚を取付ボルト (M4) で確実に固定してから配線してください。
- 造営材から10mm以上離して設置してください。
- 電源装置を2台以上並べて設置する場合は、安定器の本体ケースの幅以上離して固定し、通風に注意してください。
- 天井裏などに設置する場合は、容易に点検できるように施設してください。これは、火災の危険を防止し、定期点検、異常時の処置をおこなうため「電気設備技術基準」で定められています。

## 電源装置の配線

- 信号線は常時短絡しないてください。故障の原因となります。
- 信号線は送り配線、スター配線にて施工してください。(ループ配線は不可)
- アース線を接続してください。
- 接続端子台に直接張力が加わらないように配線してください。
- 電源装置の出力側に配線をおこなった場合、機器を接続しないまま放置しないでください。機器を使用しない場合は電線先端充電部の絶縁処理を確実にこなってください。

## 使用上のご注意

- 電源装置の銘板に表示された電源電圧 (変動範囲内)、周波数以外の電源で使用しないでください。
- 交換は必ず電源を切ってからこなしてください。電源が破損する可能性があります。
- 旧タイプの漏電ブレーカーをご使用の場合、ブレーカーがトリップする場合があります。この場合は高周波対応形漏電ブレーカーをご使用ください。
- 電源装置には寿命があります。設置して長期間経過すると外観に異常が無くても内部の劣化は進行します。保守・点検・交換をおこなってください。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、購入元・工事店へ相談してください。
- DALI機器はDALI規格の仕様を満たす機器を使用してください。
- 電源の保護機能
  - 過電流保護 電流ヒューズ (非復帰形) 過電流保護用
  - 出力短絡保護 温度ヒューズ (復帰形) 常時出力短絡状態が継続した場合、内部電子部品の異常温度を検出して出力を遮断します。温度が下がると自動復帰いたします。